

世界をはっけん！世界とふれあう！ 世界を知る会 ジュニア

りゅうがくせい
留学生の
にい ねえ
お兄さん、お姉さんと
ふれあおう！
せかい
世界のいろいろな
モノ・コトを、みて、さわって、
たいけん
体験してみよう！



親子で参加！
留学生と、
対面や Zoom で
交流します！

2023年11月18日(土)

①10:30～12:00

②14:00～15:30

※どちらも同内容です。ご希望の時間をお選びください。

►対象：武藏野市内在住・在学の小学1～3年生とその保護者

►定員：各10組（定員を超えた場合抽選）

►講師：桜美林草の根国際理解教育支援プロジェクト

►場所：武藏野プレイス 4階フォーラム

►費用：無料

►ご注意：◎保護者1名につき、**対象年齢（小学1～3年生）の子ども2名まで参加可。**

事前にお申込みのないお子さまや、対象年齢外のお子さまは、受講できません。

また、保護者の方のご参加は**1名までです**（保護者2名に子ども1名は不可）。ご注意ください。

◎感染症の流行状況等によって、留学生の参加方法がZoomのみになる可能性もございます。

ご了承ください。

◎当日は、桜美林草の根国際理解教育支援プロジェクトおよび武藏野文化生涯学習事業団の活動記録のため、写真の撮影を行います。あらかじめご了承ください。

►申込：詳しい申込方法は裏面へ

申込方法 1：ハガキ・窓口

申込締切：10月20日（金）（必着）

締切日までに武蔵野プレイスへ届くようにハガキを送ってください。

または、武蔵野プレイス 3 階 生涯学習事務局窓口でお申込みください。

▶ハガキの書き方 下記①～⑧の必要事項を書いて郵送してください。

- ①講座名「世界を知る会ジュニア」
- ②住所
- ③★名前（ふりがな）
- ④希望の時間
かならず①10時30分～か、②14時～のどちらかをご記入ください。
- ⑤電話番号
- ⑥★生年月日
- ⑦★学校・学年
- ⑧保護者氏名（参加する方のお名前）

(おもて)		(うら)
<input type="text"/>	〒180-0023	① 講座名「世界を知る会ジュニア」
		② 住所
		③★ 名前（ふりがな）
		④ 希望の時間
		⑤ 電話番号
		⑥★ 生年月日
		⑦★ 学校・学年
		⑧ 保護者氏名

※お子さま 2名でお申込みの場合は、★の項目は2名それぞれについて記入してください。

【あて先】〒180-0023 武蔵野市境南町 2-3-18 武蔵野プレイス「世界を知る会ジュニア」係

申込方法 2：インターネット

「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」からお申込みいただけます。
(<https://yoyaku.musashino.or.jp/mnet/web/index.jsp?MODE=2>)



お申込みは
こちらから！

申込期間：9月29日（金）～10月20日（金）

抽選結果公開期間：10月31日（火）～11月18日（土）（講座当日）

- 【お願い】
- ・お申込みは参加するお子さまのお名前でお願いします。
 - ・学校・学年、参加する保護者氏名を、講座お申込時の「備考」の欄にご入力ください。
 - ・ご家族の場合、**対象年齢のお子さま 2名まで**一緒に参加可能です。それについて登録・お申し込みのうえ、備考欄に一緒に参加希望のお子さまの氏名（漢字）をご入力ください。
入力がない場合は、個別に抽選をいたします。ご了承ください。
 - ・インターネットでお申込みの場合、抽選結果は各自申込サイトでご確認ください。結果通知はお送りしません。

お申込み時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約及び教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。

桜美林草の根国際理解教育支援プロジェクトとは

桜美林草の根国際理解教育支援プロジェクトは、桜美林大学の地域貢献活動としてヒト（桜美林大学で学ぶ留学生）、モノ（世界各国から収集した実物資料）、チエ・ワザ（ヒト、モノを教育活動の中で体験的に活用するための手法）で、地域の教育活動を支援するリソースセンターです。1997年の発足以来、幼稚園から大学に至る学校教育現場、公共の社会教育施設や市民の方々と連携し、豊かな体験に満ちた学びづくりに携わっています。

土曜学校「世界を知る会ジュニア」のねらい

子どもたちは留学生と出会い、さまざまなアクティビティを通して互いの文化を知り、異なるところ、同じところをみつけ「仲間」となっていきます。そして互いに協力し、世界から集めた様々な実物資料と体験的に関わるアクティビティにチャレンジします。文化や言葉の異なる留学生と協働的に関わり、知らない国のモノを実際に手にとって観察することで新たな気づきを得られます。リアルな異文化体験を通じ、単に外国に関する知識を学ぶのではなく、実際に異文化にふれあうことで子どもたちの世界を広げ、異文化への興味関心を高めることを目指します。